

三島通庸 みしま としな 官僚。天保六年六月一日薩摩國生れ、明治二十一年十月二十三日歿（八三→八八）。通稱林太郎、瀨兵衛。戊辰戦に従軍。維新後東京府権参事、教部大丞を経て、明治七年以降酒田・鶴岡・福島・栃木縣令を歴任。この間土木事業を巡りて農民、福島自由黨員と衝突、福島事件、更に加波山事件を勃發せしめ、鬼縣令と稱せられた。次で内務省土木局長、警視總監となり、二十年には保安條例により民権家彈壓を強行した。子爵。作家三島章道（通陽）、土方梅子（銀志の妻）はその孫。

著書 日國のすがた（明治二十年）二月十一堂）等。

